

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●横山和生騎手がJRA通算500勝を達成

1月31日(土)の2回京都1日・第3レースではゴディアンフィンチが1着となり、同馬に騎乗した横山和生騎手(美浦・フリー)は、現役38人目となるJRA通算500勝(6608戦目)を達成しました。

### ●3連単、馬単、馬連、ワイドのJRA史上最高払戻金更新

1月31日(土)の1回小倉3日・第6レース(18頭立て)では、単勝オッズ388.2倍で18番人気のカシノリアーナが1着、209.0倍で17番人気のスッサンエアが2着、26.4倍で10番人気のコンフィアンサが3着に入りました。この結果、3連単2-12-15は5836万7060円(4896通り中4851番人気/的中1票)、馬単2-12は174万9330円(306通り中303番人気/的中10票)、馬連2-12は61万5560円(153通り中152番人気/的中69票)、ワイド2-12は16万770円(153通り中152番人気/的中115票)となり、いずれも各式別におけるJRA史上高額払戻金記録を更新しました。

このうち3連単の5836万7060円は、これまでの2983万2950円(2012年の新潟で記録)を上回るJRA史上最高配当(WIN5を除く)。また3連複2-12-15の355万4740円(816通り中799番人気/的中22票)は3連複史上第3位の高額払戻金記録となりました。

### ●グリーンチャンネルがレース中継の無料ライブ配信開始

3月14日(土)より、グリーンチャンネルで放送中の『中央競馬全レース中継』の無料ネットライブ配信が開始されることとなりました。視聴可能なデバイスはパソコン、スマートフォン、タブレット、画質は最大4Mbps(1080p)となり、プラットフォームとしては、YouTubeのJRA公式チャンネル、JRAアプリに加え、グリーンチャンネルWeb「無料版」が新設されます。なお一般的なネットライブ配信と同程度の遅延(20秒から30秒程度)が発生し、日本国内限定(海外からの視聴不可)となります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●JRAの戸崎圭太騎手が佐々木竹見CジョッキーズGPに優勝

2月3日に川崎で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見カップジョッキーズグランプリは、1、2着という成績で戸崎圭太騎手(美浦)が総合優勝。松山弘平騎手(栗東)は8、9着で第11位でした。

### ●2月11日のクイーン賞(船橋)はアピーリングルックが有力

クイーン賞(JpnⅢ、2月11日、船橋、1,800<sup>円</sup>)は、牡馬相手に名古屋大賞典を制したアピーリングルック(56<sup>%</sup>)が最有力も、トップハンデ57<sup>%</sup>のテンカジョウ、56.5<sup>%</sup>のライオットガール、54<sup>%</sup>のメモリアカフェも大きな差はないものと考えられます。

### ●カズタンジャーらが参戦、2月12日の佐賀記念(佐賀)

佐賀記念(JpnⅢ、2月12日、佐賀、2,000<sup>円</sup>)は、堅実なカズタンジャーが中心、以下デルマソトガケ、カゼノランナー、単騎逃げが条件となる昨年の覇者メイショウフンジン、アラジンパローズ(兵庫)、オケマル(兵庫)、ヘリオスの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ランフランコ・デットーリ騎手がブラジルで引退

世界的な名手であるランフランコ・デットーリ騎手(55歳)が現地2月1日にブラジル・リオデジャネイロのガベア競馬場での騎乗をもって引退しました。この日は4レースに騎乗して、11番人気(単勝16.8倍)の伏兵ベットユーキャンで制したG1リオデジャネイロ州大賞を含む2勝を挙げるなど、華々しい幕引きとなりました。イタリア出身のデットーリ騎手はイギリスのチャンピオンジョッキーに1994年、1995年、2004年と3度輝いたほか、凱旋門賞を史上最多の6度も制する(1995年ラムタラ、2001年サキー、2002年マリエンバード、2015年ゴールデンホーン、2017年と2018年エネイブル)など数多くのビッグレースを制覇。日本でもジャパンカップ(G1)を1996年のシングスピール、2002年のファルブラヴ、2005年のアルカセットで3勝、ジャパンカップダート(G1)(現在のチャンピオンズカップ)も2002年にイーグルカフェで制しています。

### ●香港クラシックマイル〜リトルパラダイスが快勝

2月1日に香港のシャティン競馬場で行われた香港クラシックマイル(リステッド、4歳、芝1,600<sup>m</sup>)はC.ホー騎手を背に後方でレースを進めたリトルパラダイス(騾4歳、父トロナド、K.ティン厩舎)が直線で行き場を失う場面がありながらも、進路が開いてからは抜群の末脚を披露して2馬身差で快勝しました。香港クラシックマイルは香港調教の4歳馬によって全3戦で争われる4歳クラシックシリーズの初戦で、この後、3月1日の香港クラシックカップ(リステッド、芝1,800<sup>m</sup>)、3月22日の香港ダービー(リステッド、芝2,000<sup>m</sup>)と続きます。